

平成23年度 第2回村上地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成23年11月18日（金）13:30～15:30
2. 開催場所 村上市役所 4階 大会議室
3. 出席委員 長 昭榮、板垣藤生、當摩 豊、佐藤久也、吉田雅博、
木村 徹、大滝哲也、佐藤芳男、
4. 欠席委員 横山昭夫、佐藤 忠、高橋邦丕、村山優子
5. 出席職員 相馬政策推進課長
（事務局） 政策推進課；竹内室長、船山係長、大滝主査、渡辺主任
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成23年度 第2回村上地区地域審議会次第

日 時：平成23年11月18日（金）13:30～

会 場：村上市役所本庁4階大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 諮 問

4 議 事

（1）諮問内容について

5 その他

6 閉 会

会 議 経 過

1 . 開会 (13:30)

事 務 局 ; 定刻となりましたので、これより平成23年度第2回村上地区地域審議会を開会させていただきます。

まずは資料の確認をお願いします。

本日は横山昭夫委員、佐藤忠委員、高橋邦丕委員、村山優子委員から欠席の連絡をいただいています。それでは、会長からあいさつとその後の進行をお願いします。

2 . 会長あいさつ

会 長 ; 本日はお忙しい中、第2回の地域審議会にお集まりいただきありがとうございます。第1回から期間がありました、よろしくをお願いします。

3 . 諮問

事 務 局 ; それでは諮問ということで、会長に諮問書を手渡しさせていただきます。

本来であれば、市長から諮問書を手渡すべきところですが、公務のため市長に代わりまして政策推進課長より手渡しさせていただきます。

【政策推進課長より会長へ諮問書の手渡し】

4 . 議事

(1) 諮問内容について

会 長 ; では、議事の諮問内容について事務局からお願いします。

事 務 局 ; それでは諮問内容について説明させていただきます。

諮問内容二つについて、市長から諮問されましたとおり、第1次村上市総合計画の重点戦略「定住の里づくり」の柱となる五つの戦略プロジェクトの中で後期実施計画期間中に特に力を入れていくべき事項、それから各地域の活性化に向け、各地区で特に力を入れていくもの、この2点についてまとめたものがアクションプランになります。今日、内容を説明しまして質問等をいただきたいと思います。

今年度はもう2回の開催をお願いする予定です。今日を含めて次回も意見をいただき、第4回目で答申としてまとめていただく予定としています。

資料の「アクションプラン(素案)」について説明をしますので、資料をご覧ください。

【アクションプラン(素案)について説明】

事前配付した資料について説明しましたが、不明な点のご質問をいただいて補足の説明をさせていただき、あるいはご意見をいただきたいと思います。

なお、次回の会議では引き続き意見交換をさせていただきまして、最終的に第4回目で答申という形で、この地区の意見をまとめていただきたいと思います。

しくお願いします。

会 長； 事務局の説明に何かありますか。

「クラインガルテン」について、村上市にとってのメリットは何があるのでしょうか。

事務局； 市外の人が猿沢集落内の畑を借りて農業体験をするというものですが、市外の人地元の人と一緒にイベントや収穫祭などさまざまな交流をしています。集落の活性化と観光の面でメリットがあります。この農園は交流を通じたきっかけ作りで、これが移住につながればという狙いがあります。

今回は初めての試みでしたので市が整備して農園を始めましたが、今後はほかの地区に展開はできないのか、する場合には市が主体となるのか、地域が主体となって市が財政支援をするのかなどいろいろと考えられます。検証して、どんなやり方がいいのか検討していきたいと思います。

会 長； 4ページの「空き家活用」の事業である空き家バンクについては、どのような仕組みでしょうか。一年契約などで短期間の移住ということでしょうか。

事務局； 空き家の所有者には選択制として、売買と賃貸を選んでもらっています。今現在ホームページで公開している中で、1件を除きすべて売買で掲載しています。

会 長； 4ページの「子育て環境の整備」について、延長保育、土曜保育とありますが、医療保育というものは考えてないのでしょうか。

事務局； 次世代育成支援行動計画というものがありますが、この中では研究が必要だと記載しています。新潟市では積極的に取り入れています。合併前の旧村上市でも検討しましたが、病院の運営体制などの関係で実施に至りませんでした。

会 長； 今は共稼ぎがほとんどなので、安心して働けるようにしていかないと定住の里づくりにはならないと思います。

事務局； 今までも土曜保育や一時保育をしていますが、日曜の受け入れも早急に検討しないといけないということでありまして、今の医療保育のご意見についても、これから答申いただく地区の意見としての一項目だと思います。

会 長； 医療の関係ですが、村上病院は厚生連ですが、移転や大きくすることについて市の財政負担でなく、県からお金を出すことはあるのでしょうか。

事務局； 補助金制度が使えれば国、県が出す仕組みはありますが、単純な支援であれば、県が事業主体ではないので基本的に県から支出はないと考えます。

会 長； 坂町病院は県立なので、その場合は県が動くということですか。

事務局； 県が主体です。ただ、県立病院はすべて赤字ですので、病院改革の中でこれ以上赤字を増やすのかという議論があるようです。

会 長； 5ページで「新エネルギーの導入を実施する」とあるが、具体的に何をするのでですか。

事務局； 新しい村上市の新エネルギープランが公表されていないので、可能性のあるものとして、地元の産材を使った木質ペレットや温泉熱など、これから早急に立ち上げる予定です。

会 長； 新エネルギーの導入で村上市全体の電気を賄えるということでしょうか。

事務局； そういう意味ではなくて、この春の震災を契機に、それまで事業所や民間が発電した電気を電力会社が買う制度がありました。今年の8月26日の新エネルギー促進法ができたことで、家庭以外の発電を全て事業者が買い取る制度がスタートします。年が明けて2月頃、何キロいくらという値段が設定され、その施行が来年7月1日です。

現在、民間に対して太陽光発電施設の設置補助制度が国、県であります。平成25年度からの計画を議論する中で、例えば国、県の補助金に市でも補助金を上乗せするなどの市民への支援策の構築を検討し、村上市も力を入れてやっていくという意気込みで、エネルギーのことを考えていくというものであります。市がエネルギー施設を建てるというものではありませんので、補足いたします。

資料の「新エネルギーの導入を実施する」という表記では意味が違ってしますので、「新エネルギーを活用できる支援策を構築する」というような表現に最終的に修正します。

会長； 全て大事なことだとは思いますが、内容が多いので、これらの項目を全て答申するには難しいのではないのでしょうか。

事務局； 補足しますが、3ページからの「2 戦略プロジェクト別に特に推進すべき施策の方向性」については市全域のもので5地区からいろいろな意見をいただきたいですし、7ページの「3 地域活性化に向け各地域で特に取り組む施策の方向性」については村上地区のものについての2段階構想で意見を願います。

会長； みなさん何か意見はありますか。

委員； 各地区に同じ資料が提示されて検討していることと思いますが、7ページの施策の方向性については村上地区の部分だけを議論すればいいということでしょうか。

事務局； 3ページから6ページについては、市全体としてどうあるべきかというものですので、各地区からご意見を求めています。

7ページについては、平成21年度に村上地区はこうあるべきだという意見をいただいておりますので、いただいた意見の中から村上地区に必要と思われる2点を事務局で出したものです。議論して違ふとなれば、修正していただきたいと思っております。

会長； 7ページの「村上駅周辺の活性化」については、商工会議所でフォーラムなどを行っているが、なかなか盛り上がっていないと思われ。何かをするにしても予算がかかるので難しいのではないのでしょうか。

同じく「中心市街地再生による地域の活性化」についても、非常に難しい話だと思っております。

委員； 3ページの「高速交通体系の整備促進」について、先般開催された説明会では朝日まほろばICから温海IC間の整備計画として、三つのルート案を示していましたが、国は周辺地域のことは全然考慮していないようです。このルート案には市の意見をどのように反映したのでしょうか。

事務局； ルート案が三つ出されましたが、市には何の話もありませんでした。新潟国道事務所から出されたものですが、技術的に経費や延長、地盤からして三つのルートが考えられますというのが主体で、地域のことを考えての協議などはありませんでした。

委員； 安全性などからのルート案のようですが、大事な地域の活性化のことはあまり考えていないようです。

会長； 豊栄ICからトイレがありませんが、荒川ICからは新直轄方式なので無料となっています。降り口が多いので、トイレは降りてもらおうということで、国としては作らないようですが、行政としてはどこにどうやって降りてもらおうかを考えたほうが地域の利益になると思います。

委員； どこで降りるのも自由で、しかも無料なので、道の駅と併設したような施設（サービスエリア・ハイウェイオアシス）を国は作らないと思います。地域が考えて、インターチェンジ近くに施設やトイレを作って、地域の活性化を図るしかないのかなと思います。

会長； そういうものに対して、行政がお金を出せばいいのではないのでしょうか。

事務局； 今のような意見を議論していただいて、通過都市とならないよう実施に向けた体制作りを官民一体となって、早急にしていかなければならないと考えています。

委員； 村上に企業が誘致されれば雇用が促進されるという単純な発想だけでは、働く場がなくなっていくと考えています。

福島から非難してきた人からは、住みたいけれど働く場がないという声を聞きます。土地的にいいし、新潟県の人柄もいいと言っていますが、働く場がないので別々で暮らすしかないそうです。

さきほどの空き家バンクはいい案だと思いました。このような空き家や耕作放棄地など、地域の資源を活用する知恵を住民に伝えて啓発しなければいけないと思います。企業を誘致するより、今あるものを活用する必要があります。

太陽光発電にしても、個人に対しての支援では補助金という形にしかならぬから、学校などの公共施設で率先して設置していくべきだと思います。

事務局； 第2回の地域審議会は村上地区の開催が最後ですが、各地区から企業誘致にしても、資源の活用にしても、いろいろな意見がありました。十分に整理をして、委員のみなさまの意見を反映して作っていきたいと思います。

委員； 人口が減っていく中で労働人口も減っていきます。労働力があれば企業も来ますが、労働力のないところに大きな企業が来ることはありません。地域の中で、住民がお互いに仕事を作っていくことが必要だと思います。

商店街にしても、消費人口が減っているのに、なかなか維持できないのが現状です。住民自らが雇用の場を作っていくと雇用の拡大には結びつかないと思います。

3ページに「農商工連携」などの文面がありますが、「商店街」についても元気になるような文面を入れてもいいと思います。7ページの村上地区には記載されていますが、市全体で取り組むべきものだと思います。

会 長； 企業誘致で大きい会社が進出してくると、地元就職希望の新卒者を大勢採用するので、中小企業では若い人を採用できないという悪い面もあります。農業だとか、農業株式会社のようなリタイアした人が働けるような企業、商売をやればいいのではないのでしょうか。震災の影響で太平洋側の加工業は全滅という噂もあるので、日本海側で始める場合には市が支援するなどすれば、年配の方や女性も含めて雇用の場になるので力を入れればよいと思います。

委 員； 大きなショッピングセンターが国道にどんどんできていますが、村上市のためになっているのでしょうか。お金が外に持っていかれているのではと危惧しています。便利ではありますが、地元の商店が閉店に追い込まれていることを考えると、本当にいいのか疑問を持っています。

これからは、お年寄りで買い物に行けなくなる人がどんどん出てきます。ショッピングセンターにバスを出すだけでいいのでしょうか。新潟市あたりならいいですが、この地域はそれでいいのでしょうか。地域に店を出させるなど、村上で何が必要なのか、もっと根本を考えないといけないと感じます。

会 長； 村上市として商売はできないのでしょうか。

例えば、旧エノモト建物跡地を市が借りて野菜を売ってはどうか。当然、赤字にはなると思いますが、交通機関に補助して赤字になっているのと同じと考えれば、市が補助して野菜を売ったり、加工品を置いたり、人が集まる憩いの場として提供してもいいのではないのでしょうか。赤字でもそういう場を市が作れば、お年寄りの集まり場にもなるし、とてもいいと思います。

事 務 局； 非常にいいアイデアだと思います。市が直営かどうかは別として、場の提供としてはすばらしいと思います。

会 長； 市が場所を提供したり、赤字になっても市が補填するやり方をすれば、農家も一生懸命働いていいものを作ると思います。道の駅がなぜ儲かっているのかというと、野菜があるから人が集まってきているからです。

事 務 局； 高速道路が朝日まで延びたので、神林の道の駅は通過となりました。たしかに売り上げは落ちましたが、野菜があるためそこに人は集まるので、極端には落ちませんでした。

会 長； 豊栄ICを降りてすぐにある「わくわく広場」が大変有名ですので、こういうものをできればいいのではないのでしょうか。

委 員； 2ページに「限られた予算規模」とありますが、どれぐらいの予算規模を想定して、どれぐらいの人口減少を食い止められると考えているのでしょうか。

事 務 局； 総合計画は平成28年度までの8年間の計画とさせていただきました。

基本的に、人口は減っていくと想定するしかないと思います。転入転出といった社会的な人の動きと、出生や死亡といった人の動きの中では、亡くなる人が圧倒的に多いので、人口減少を一気にプラスにするのは難しいと想定されます。ただ、社会的な動きと出生については、いろいろな施策で増やすことを目指していますが、この施策でこの人口まで食い止めたいというのは言い切れません。

今年度の予算は一般会計で約300億円です。合併時の交付税が期限を迎えて減

っていきますので、今を上回る歳入を見込んでの事業展開は非常に厳しいということで精査をしています。昨年の市議会で、どれぐらいの財政規模が妥当なのかという質問では、290億円から300億円ぐらいで推移していかないと難しいという答弁をしています。これぐらいの規模をベースに組立てをして、何百もある事業の中で、これに力を入れるというものを今まで以上に出して、このアクションプランを色付けし、作り上げたいと考えています。

委員； 人口の現状維持、プラスが活性化につながりますので、人口が増えている聖籠町を調べていただきたいと思います。企業誘致だけではなく、どうやって村上に住んでもらえるか考えていただきたいと思います。例えば高速道路の料金が無料になるように市が補助するなどの方法があればいいのではないかと思います。

委員； 確認ですが、人口は微減で抑えたいということ、予算は約300億円ということでしょうか。

事務局； 今現在は年間で800人から900人ぐらいの減少となっていますが、どうにか食い止めていきたいと思います。

予算については、ごみ処理場建設が70億円で、その後20年間で100億円以上の経費が掛かりますので、それらの償還等を見て検討していきますが、デコボコな予算にならざるを得ないと思います。

3割自治といわれていましたが、昨年度の税の割合は22%でした。国の制度などにある程度頼らないと予算を組めませんので、交付税の動きによっては変更せざるを得ないことをご理解いただきたいと思います。

県内で交付税をもらわず自前でやっているのは、聖籠町、刈羽村、湯沢町がありますが、この町村は発電関係により財源がありますので、いろいろな施策ができるというのが一番大きいのではないのでしょうか。

会長； 企業誘致で人口を増やすというよりも通勤圏（ベッドタウン）というのが大事だと思います。通勤時の定期券に補助をしたり、アパート家賃に補助をするなど、村上市に住むほうが他市町村に住むよりも良いとなれば、人口は増えると思います。

事務局； 4ページの「移住定住者支援制度」による建築費の補助や、保育園の話など移住定住を求める方にはいろいろなケースがありますので、条件が合えば、仕事は変えないで村上に住むということになると思います。

委員； 5ページの「学校支援地域本部事業」とは具体的に何でしょうか。

事務局； 村上地区ですと、村上第一中学校ではクリーン作戦、登下校安全パトロール、キャリアウィークスタート、その他ボランティアなどを行っています。

村上東中学校ではボランティアやフォーラムの開催、学校見学のほか、文化祭や体育祭に地域の人に参加できる仕掛けもされています。

岩船中学校では食育や学校生活、教育相談などいろいろなアンケートについて、特に力を入れています。

また、小中学校の連携事業は全てが該当になります。現在のところ中学校での活動が活発だと所管から聞いています。

- 委員； 5ページの郷育会議の予算は減ったのでしょうか。
- 事務局； 以前は国の100%補助でしたが、今年度から3分の1ほどになったようです。ただ、国が手を引いたからといって、やっと軌道に乗り始めた事業を止めることはできない、継続が必要ということで記載しております。
- 委員； 今の学校ではいろいろな問題があって、人が足りないと現場の先生から聞いています。昔の学校とは違ってきていますので、地域や家庭とどうやって充実させていくのか気になっています。
- 事務局； 村上地区では以前から委員のおっしゃることが議論されていて、特に小中学校の連携を明確化されているようです。
- 委員； 人口流出について議論されていますが、福島県からの避難者は村上市を絶賛していました。しかし、住んでいる若い世代が気づいていないのが現状です。市として、幸福度を計るのもいいと思います。今話題のブータン王国のように、市の幸福度が高ければ話題になって、人口流出に歯止めがかかるのではないのでしょうか。
- 村上市は災害に強いと言われていますが、なぜ強いのか、その根拠があれば地域のPRになるかと思えます。
- 事務局； 全国都市ランキングというのがありますが、市として幸福度は計っていません。
- 委員； 新潟の人から、村上市は「おもてなし」がいいと言われました。雰囲気というか、人間性がいいというのをはっきり意識して、PRをしていけばいいと思います。
- 会長； 村上市はほかの有名な町屋に比べると綺麗ではありません。だけど、雰囲気が違います。ほかは観光色が強いですが、村上市は生活のにおいがするのがいいと思われています。村上のよさのPRをもっと具体化して、意識付けをしたらどうでしょうか。
- 委員； 4ページに「施設入所待機者の縮減」とあるが、施設を作って対応することはできないのでしょうか。
- 事務局； 民間業者では建てたい企業はたくさんあります。しかし、建てることによってその負担は、受益者である被保険者の介護保険料に跳ね返ります。行政としてはバランスを見て調整しなければなりませんし、それと同時に、介護予防についても進めなければならないので、「縮減」という記載となっています。
- 委員； 村上市には500人ぐらいの待機者がいるとも聞いています。
- 委員； 施設を増やせば雇用の場になるかと思ったのですが、予算や住民負担などもあるならば「縮減」という表現でいいと思います。
- 事務局； 国も二転三転しています。これから作る介護保険事業計画についても、県との協議が必要です。この協議が整って、新たにこういう施設が必要だとなり、それが介護保険料に反映されてくるイメージです。
- チラシに出てくるような介護付き有料老人ホームというのは、介護保険適用施設ではありませんので、介護保険料に反映されるものではありません。
- 委員； 介護保険制度が変わって、入所者の負担が増えました。施設を出る人もいた

りしましたが、どこの施設を見学に行っても、百何十人の待機者がいます。高齢化社会の影響を大きく受けていると思います。

また、障害についても、昔と比べて対象範囲が広がっているいろいろとあり、障害という一つの言葉で捉えきれない状況にありますので、どうやって対応していくのか悩んでいる施設もあると聞いています。

会 長； 次回はどのような流れになりますか。

事務局； 今日初めて内容を説明しましたので、また次回も意見をいただきたいと思います。それを整理しまして、諮問に対する答申を第4回目ですとまとめたと思います。

委 員； 確認ですが、ここに記載されている中で、あるいはこれに関連して立ち上げている、あるいは予定している検討委員会や推進委員会などがあるのはどれでしょうか。

事務局； いくつかありますが、ほかの委員会などとは一線を引いて、市民目線で意見をいただきたいと思います。

会 長； 平成25年から平成28年にかけてどうするかということだと思いますが、平成21年から平成24年で終わった事業はあるのでしょうか。過去の事業が示されないと、この後の事業に対する意見が出ないのではないのでしょうか。

事務局； アクションプランは施策の方向性を示したものでありまして、事業そのものではありません。こういう視点でまちづくりを進めたいというものです。ベースは総合計画や各種計画から絞っているものなので、方向性は同じ作りとなっています。委員のみなさんからの意見を多くいただきまして、それを庁内で具現化して実施計画として事業化していきたいと考えています。

委 員； 検討委員会などにはどう反映されていきますか。

事務局； 地域の審議会ですので、市民感覚の意見として検討委員会などへ投げかけます。あまり意識しないで意見をいただきたいと思います。

5. その他

会 長； 次回の日程はどうしますか。

事務局； 最終は2月の半ばを予定しています。調整がつけば次回は12月に開きたいと思いますが、無理ならば1月になると思います。

委員のみなさんの内容に対する疑問や質問を5地区で共有したいと思いますので、文書で照会されましたら、お寄せいただきたいと思います。

副会長； 本日は慎重審議ありがとうございました。市長からの諮問について、いろいろな角度から議論していただきました。方向性を示す大事なものですので、一歩でも二歩でもプラスになるように、この会が進んでいければと思いながら、閉会のあいさつとさせていただきます。

6. 閉会 (15:30)